

## 🌻 日頃の意識と訓練の大切さ あらためて痛感

「そらいろ」8号で、「いざというときに備えて」避難訓練の大切さに触れたのですが、1月2日に羽田空港で起きた日航機と海上保安庁機の衝突事故において、日航機の乗員、乗客約400人が全員無事に避難した事例を見て、あらためて日頃の意識と訓練の大切さを痛感しました。

報道によると、9人の客室乗務員のうち4人は入社1年目だったそうです。今回、全員が安全に避難できたのは、客室乗務員が、経験年数に関わらず乗客を冷静に避難誘導できるよう日頃から質の高い訓練を行っているからだと思いました。

本校では1月26日に、安芸消防署の隊員の方に来ていただいて、火災の避難訓練を行いました。約300人の児童がグラウンドに避難するのに要した時間は4分5秒でした。

消防署の方からは、「これほど静かに、速やかに避難できた学校は初めてです」と褒めていただきました。訓練を自分ごととして一人一人の児童が行動してくれたのと、本校の教職員の事前指導の徹底の成果だと嬉しく思いました。



職員の消火訓練も貴重な体験となりました。消火器の置き場所が分かっているにもかかわらず、いざというときに使えなければ意味がありません。この経験を生かし、万一の場合に正しく操作して使えるようにしたいと思います。

訓練の終わりには、日頃なかなか見ることができない消防自動車を間近で見せていただきました。消化するための様々な工夫を説明していただいたり、はしごを伸ばす様子を見せていただいたりして、児童も実感的な学習をすることができました。

